



園だより



2023年8月1日
末長こぐま保育園
辻 敦美

セミの鳴き声が聞こえ、いよいよ夏本番ですね。照りつける太陽のもと、暑さに負けず子どもたちは、元気に過ごしています。乳児クラス、幼児クラスともに本格的に水遊びが始まりましたが、怪我や熱中症などに十分気を付けながら安全に行えるよう、職員全員で子どもたちの見守りを強化して取り組んでいきます。今月も、子どもたちが夏ならではの経験がたくさんでき、「楽しい！」と思う毎日を送れるよう保育を工夫しながら行っていきます。

～子どもたちにとっての保育園という場所～

先日、京都大や筑波大などの研究チームが3～5歳の間に新型コロナウイルス禍を経験した保育施設に通う5歳児に平均約4ヶ月の発達の遅れがあり、特にコミュニケーション能力や社会性の部分で見られたと発表したニュースを見ました。要因としては、社会性を身につける時期に両親以外の大人や子どもと交流する機会が減ったことが考えられるとのことでした。ニュースを見ながら、「4ヶ月の発達の遅れとはなんだろうか」とモヤモヤした感情が湧き上がってきましたが、それよりも、保育園という場所が子どもたちにとってどのような場所でなくてはならないのかをあらためて考えさせられました。たしかに、この数年は、我慢や制限が多い中で過ごしていたことから、経験したことが少ないと思います。しかし、子どもは大人よりも「伸びる力・レジリエンス力（困難や逆境を乗り越える力）・育つ力」が大きいと言われており、まさに、末長の子どもたちもこの三つの力と保護者の方のあたたかなサポートによりコロナ禍の中でも、心も体も大きく成長しているのを感じます。先月行われたなつまつりでも、幼児クラスでは、友だちや異年齢児と協力しながら作り、お店屋さんでは、きりん組がぞう組に役割をわかりやすく伝え分担して行う姿が見られました。また、買い物にきたうさぎ組や乳児クラスの子どもたちに優しく声をかけ、また、買った物を大切に握りしめながら友だちと嬉しそうに見せ合い、楽しさを共感し合う姿をみて、コミュニケーションの力がしっかりと備わっているのを感じました。これからも、保育園という場所が、子どもたち一人一人が求める経験がたくさんできるよう、そして、子ども同士の繋がりを大切にする保育をしていきたいと思っています。

～今月の行事予定～

- | | | |
|--------|---------------|--|
| 4日（金） | 園医健診 | |
| | 英語で遊ぼう（幼児クラス） | |
| 15日（火） | 避難訓練 | |
| 25日（金） | 英語で遊ぼう（幼児クラス） | |
| 28日（月） | 誕生会（幼児クラス） | |
| 31日（木） | 水遊び閉まり | |

※今月は、花の美保育室との交流保育はありません。

～職員のお知らせ～

- ☆8月1日
☆8月31日

～おたより等のメール配信について～

法人より、9月1日以降のおたよりや川崎市からのお知らせは全てメールにて配信いたしますので、よろしく願いいたします。尚、紙面で欲しい方は担任までお声掛けください。

～お知らせ・お願い～

- 運動会について（幼児クラスのみ参加）

日時 10月14日（土）
場所 末長小学校 体育館

時間 3歳児クラス 集合 8時45分

開始 9時

4・5歳児クラス 集合 10時

開始 10時15分

※ご質問等ございましたら、園長までお声掛けください。

- 園活動用の靴のご準備について（幼児クラス）

現在、園庭遊びや散歩の際、登園靴で活動しておりますが、コロナ禍以前は園活動用の靴を外の下駄箱に常備しておりました。コロナ前の保育環境に戻し、戸外活動を充実させるため、汚れてもかまわない園活動用の靴を外下駄箱に常備したいと思いますので9月中旬を目安に声を掛けさせていただきます。9月のクラス便りで再度ご説明させていただきますので、ご確認ください。尚、外靴を洗う日はもうけませんので、保護者の方のご判断でお持ち帰りください

